

平成29年度  
群馬県工ネスコ連絡協議会  
定期総会



United Nations  
Educational, Scientific and  
Cultural Organization



公益社団法人  
日本ユネスコ協会連盟



日 時 平成29年5月10日(水) 午後2時

会 場 沼田市中央公民館 4階ホール



# 手に手をとって (ユネスコの歌)

群馬県ユネスコ連絡協議会

菱山修三 作詞  
古閑裕而 作曲

明るく楽しく ♩ = 112

せ かい じゅう の ひ と たち が み ん な 手 に 手 を  
つ な い だ ら せ かい は 一 日 の 照 る 一 ま ひ る 一  
に 一 な 一 る 一 み ん な は な わ を 一 つ く っ た ら は な  
わ と は な わ を 一 む す ん だ ら ぐ る ぐ る ま わ る 輪  
に な っ て ひ ろ い 一 地 き ゅ う 一 を か こ ん だ 一  
ら 一 せ かい は あ か る い そ の に な る あ あ  
一 ユ ネ ス コ 一 あ あ 一 ユ ネ ス コ 一

ああ	ユネスコ	ああ	ユネスコ	世界は	ひろい地球を	かこんだら	ぐるぐる	まわる	輪になつて	花輪と花輪を	むすんたら	みんな	花輪をつくつたら	日の照る	まひるになる	世界は	みんな	手に手をつないだら	世界じゅうの	ひとたちが
----	------	----	------	-----	--------	-------	------	-----	-------	--------	-------	-----	----------	------	--------	-----	-----	-----------	--------	-------

# 平成29年度 県ユ連定期総会

日 時 平成29年5月10日(水) 午後2時  
会 場 沼田市中央公民館4Fホール

司 会 沼田ユネスコ協会

## I 総会

- 1 開 会 県ユ連副会長
- 2 ユネスコの歌「手に手をとって」斉唱
- 3 あいさつ 主催 群馬県ユネスコ連絡協議会 会長 小林照夫  
主管 沼田ユネスコ協会
- 4 来賓祝辞 群馬県教育委員会生涯学習課長 下田 明英 様  
太田市教育委員会教育長 大竹 孝夫 様
- 5 議長選出
- 6 議 事
  - (1) 平成28年度 事業報告並びに決算報告
  - (2) 平成28年度 会計監査報告
  - (3) 平成29年度 事業計画(案)並びに予算(案)
  - (4) 県ユ連創立50周年記念事業計画(案)並びに予算(案)
  - (5) その他
- 7 議長退任
- 8 連絡事項
- 9 閉 会 県ユ連副会長

## II アトラクション

沼田市の市民合唱団「クレッシェンド」の公演

平成28年度 事業実績報告書

事業名	平成28年度 群馬県ユネスコ連絡協議会定期総会 (太田ユネスコ協会)
趣旨・目的	平成27年度 群馬県ユネスコ連絡協議会事業総括 平成28年度 事業並びに予算審議を行った。
日時	平成28年5月7日(土) 午後2時
場所	太田市社会教育総合センター
対象	群馬県ユネスコ協会(12)・出席会員 71名
事業内容 方法	平成27年度 事業並びに決算報告と審議・承認 平成28年度 事業計画(案)並びに予算(案)の提出。審議後可決。
事業の成果	県教育委員会下田生涯学習課長、田口青少年教育係長、太田市教育委員会澁澤教育長をお招きし、各ユネスコ協会から多数の出席を得て、ユネスコ活動活性化を図る総会となった。
その他	群馬県ユネスコ連絡協議会創立50周年記念大会実施に関するアンケート調査等の依頼。 今後の事業の在り方。



## 平成 28 年度 補助事業実績報告書

事業名	平成 28 年度群馬県ユネスコ連絡協議会研修視察 (主管：高崎ユネスコ協会)
趣旨・目的	<p>1972 年のユネスコ総会で「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約（世界遺産条約）を採択しました。わが国は 1992 年にこの条約を批准しました。この条約のもとに人類全体のための世界の遺産として、顕著な普遍的価値を有する文化遺産・自然遺産等を保護・保全するための運動が推進されてきました。</p> <p>さて、このたび 2015 年 9 月 24 日に世界遺産、無形文化遺産と並ぶユネスコの事業の一つであるユネスコ記憶遺産の国内候補に、わが群馬県の上野三碑が決定しました。そのことは大変喜ばしいことであり、2017 年夏のユネスコの委員会審査での世界記憶遺産への登録決定を期待している。</p> <p>そこで、この機会に上野三碑についての理解を一層深め、郷土の貴重な遺産の保護・保全の在り方を探ることは大変有益であると考え、下記により研修視察をおこなった。</p>
日時	平成 28 年 10 月 5 日（日）10：00～15：30
場所	高崎市吉井公民館、多胡碑記念館、多胡郡正倉跡
対象	群馬県内の各ユネスコ協会会員及び事務局員
事業の内容方法	上野三碑の歴史的価値を再確認し、郷土の貴重な遺産の保護・保全の在り方を探るための示唆を得るため、上野三碑世界記憶遺産登録推進協議会長の横島庄治氏から「文化が都市を刺激する」～上野三碑世界記憶遺産登録推進活動を通して～という演題で講演を聞いた。その後、多胡碑記念館に移動し、多胡郡正倉跡や多胡碑及び多胡碑記念館内を現地視察し、解説を受けた。
期待される事業の効果	<p>○本研修会をおこなったことにより、上野三碑への理解が一層深まったのではないかと思う。</p> <p>○遺産登録の条件には、その遺産そのものの価値の高さが認められることに加え、その遺産が広く人びとに認知され保護されてきたかも大切な要素であると考え、このたびの県下のユネスコ会員が多数参加し理解を深めたことは誠に意義深いことである。</p> <p>○県内にはそれぞれの地元に価値のある遺産が存在する実態であるから、それらをユネスコ文化遺産や日ユ協が進める「未来遺産」等に登録しようという運動に弾みがつくのではないかと思う。</p>
その他 (参加者数)	本研修会には県内各ユ協から 60 名が参加した。講師や来賓を含めると総勢 64 名の参加となった。

平成28年度 補助事業実績報告書

事業名	国際理解バス（県ユネスコ連・各ユ協）		
趣旨・目的	<p>青少年を対象とした事業として定着したものである。          青少年と海外青年との交流を図ることにより、国際的な視野を広めるとともに、国際的社會人となるための資質の向上を図る。</p>		
期日・場所	7月23日（金）	サマースクール（下仁田町）	館林ユ協
	8月 3日（水）	JICA筑波・JAXA筑波	大泉ユ協
	8月10日（水）	JICA筑波	藤岡地方ユ協
	8月10日（水）	東京JICA	沼田ユ協
	8月19日（金）	東京JICA・EU大使館	前橋ユ協
	8月22日（月）	ウズベキスタン大使館	富岡ユ協
	8月23日（火）	多胡碑記念館、富岡製糸場	太田ユ協
	8月25日（木）	東京JICA、 チェコ共和国大使館	高崎ユ協
事業の内容・方法	<p>外国からの研修生との交流体験          海外協力隊の経験談          JICA筑波センター・同宇宙センターでの見学          世界遺産の見学</p>		
事業の効果	<p>異文化や世界遺産を理解し、国際人となるための学習や体験をすることができた。</p>		
その他	<p>ホスト 県ユネスコ連絡協議会・各ユ協</p>		

事業名	海外青年交歓研修会																										
趣旨・目的	外国人の考え方や文化の違い等を理解し、国際理解のための相互理解を深める。																										
日時 場所 対象	平成28年12月11日(日) 13:30~16:00 藤岡市総合学習センター、学習室南403(藤岡市藤岡1485) ユネスコ協会会員等(計150名)																										
事業の内容・方法	<table border="0"> <tr> <td>1 受付</td> <td>13:00~13:30</td> </tr> <tr> <td>2 開会行事</td> <td>13:30~13:45</td> </tr> <tr> <td>3 I部 合唱</td> <td>13:45~13:55</td> </tr> <tr> <td colspan="2">藤岡地方ユネスコ少年少女合唱団</td> </tr> <tr> <td>II部 弁論発表 3名</td> <td>13:55~14:20</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(タイ、イギリス、台湾)</td> </tr> <tr> <td>III部 中学校英語弁論大会優秀者発表 3名</td> <td>14:20~14:35</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(藤岡市立東中、西中、小野中)</td> </tr> <tr> <td>IV部 シンポジウム「多様性に生きる」</td> <td>14:35~15:35</td> </tr> <tr> <td colspan="2">休憩</td> </tr> <tr> <td>V部 ユネスコスクール演奏</td> <td>15:45~16:00</td> </tr> <tr> <td colspan="2">藤岡市立神流小学校 合唱部</td> </tr> <tr> <td>4 閉会</td> <td>16:00</td> </tr> </table>	1 受付	13:00~13:30	2 開会行事	13:30~13:45	3 I部 合唱	13:45~13:55	藤岡地方ユネスコ少年少女合唱団		II部 弁論発表 3名	13:55~14:20	(タイ、イギリス、台湾)		III部 中学校英語弁論大会優秀者発表 3名	14:20~14:35	(藤岡市立東中、西中、小野中)		IV部 シンポジウム「多様性に生きる」	14:35~15:35	休憩		V部 ユネスコスクール演奏	15:45~16:00	藤岡市立神流小学校 合唱部		4 閉会	16:00
1 受付	13:00~13:30																										
2 開会行事	13:30~13:45																										
3 I部 合唱	13:45~13:55																										
藤岡地方ユネスコ少年少女合唱団																											
II部 弁論発表 3名	13:55~14:20																										
(タイ、イギリス、台湾)																											
III部 中学校英語弁論大会優秀者発表 3名	14:20~14:35																										
(藤岡市立東中、西中、小野中)																											
IV部 シンポジウム「多様性に生きる」	14:35~15:35																										
休憩																											
V部 ユネスコスクール演奏	15:45~16:00																										
藤岡市立神流小学校 合唱部																											
4 閉会	16:00																										
期待される事業の効果	・プログラムに60分のシンポジウムを組み入れた。タイ、イギリス、台湾の3か国の弁士と、3人の中学生を中心にシンポジウムを進めた。会場フロアからの熱心な質疑も加え、国や民族、言葉や習慣の異なる人々との協働を目指すとともに、文化や価値観の多様性を尊重する必要性を改めて認識した。																										
その他	(課題) ・SDGsの目標を確認するとともに、多様性の尊重と国際理解の深化が平和な世界の実現につながるという、ユネスコ精神を機会あるごとに発信したい。																										

(別紙4)

社会教育関係団体事業費補助事業実績報告書 (平成 28 年度)

団体名	群馬県ユネスコ連絡協議会
-----	--------------

事業名	広報誌「ユネスコ群馬第73号」の発行配布事業		
趣旨・目的	広報誌「ユネスコ群馬」を発行することにより、県内各ユネスコ協会の情報発信の場及びユネスコ協会の理念の発表の場を念頭に事業展開を行った。各ユ協の郷土文化の紹介・ユネスコスクールの活動状況の紹介などを掲載、配布し、県内ユネスコ活動の振興を図った。		
日時	平成29年1月31日発行		
場所	沼田市 利根印刷所 沼田ユネスコ協会		
対象	県下12ユ協・全会員・協力諸団体、関係機関等に配布完了		
	対象者・団体等の数	約2,000	講師人数
事業の内容方法	発行部数 2,100部 配布先 県下全会員、県内外の関係機関及び協力団体 今まで8頁の広報誌を年2回発行していたが、今年度はページ数を12頁、年一回の発行とするとともに、各ユネスコ協会の活動の様子や県ユ連創立50周年記念事業の計画、関プロ東京大会、県ユ連研修視察の紹介など、内容の充実を図った。		
期待される事業の効果	県内12のユネスコ協会や県ユ連・全ユ連の情報発信をし、共通理解を図るとともに、県ユ連創立50周年記念事業の周知、啓発や、ユネスコスクールでの子ども達の活動の様子を紹介するなどして、各ユ協、県ユ連の活動の輪を広げ、充実させることができたと考える。 特に、利根実業高校が日本ユネスコスクール全国大会金沢大会において「ESD大賞審査員特別賞」を受賞したことは県ユ連としても喜ばしいことであった。		
その他 特記事項	今年、11月26日に群馬県ユネスコ連絡協議会の創立50周年記念事業が開催される。		



事業名	第2回 ユネスコスクール研修会 (ユネスコスクール委員会)
趣旨・目的	ESD・ユネスコスクールの理解と実践の質的向上、並びに活動の推進を図る。
日時	平成28年12月21日(水) 13:50~16:40
場所	藤岡公民館(藤岡市藤岡1639-5)
対象	ユネスコ協会会員、学校教職員、教育委員会関係職員等(計122名)
事業の内容・方法	<p>1 受付 13:20~13:50</p> <p>2 開会行事 13:50~14:00</p> <p>3 講演「新しい教育課程とESD」 14:00~15:30          ーアクティブラーニングの視点とカリキュラムマネジメントー          講師 田村 学 氏(文科省初等中等教育局 視学官)</p> <p>4 ユネスコスクール活動報告・成果と課題          藤岡市立藤岡第二小学校 15:40~15:55          群馬県立利根実業高等学校 15:55~16:10</p> <p>5 質疑・協議 16:10~16:40</p> <p>6 閉会 16:40</p>
期待される事業の効果	<p>参加者122名。内訳は、小・中・高教員58名(校長19名、教頭15名、教諭24名)、ユ協会員43名(7ユ協)、教委関係職員21名。          アンケート回答者全員が「参考になった」としている。</p> <p>(ユ協)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領とESDの関係のわかりやすい話を聞き、ユネスコスクールに1校でも多く参加してもらいたいと思った。</li> <li>・2校の発表内容がよかった。ESDに一層力を注いでいきたい。</li> <li>・学校と地域とのかかわりがこれから重要と考える。</li> </ul> <p>(教員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ESDの意義や今後の教育の方向が理論的に理解できた。ユネスコスクールのやるべきこと、取組の方向が明確にできた。</li> <li>・新学習指導要領の目指す方向性が明確になった。活動報告では、ESD活動で変容する子ども、成長する子どもを実感した。積極的に取り組んでいきたい。</li> <li>・次期学習指導要領改訂の基盤にESDの考え方が深くかかわっていることがわかると共に、今後ESDの必要性を認識してもらい機会が重要。学校ごとの取組では限界がある。各市町村の教育委員会ごとに各行政としてのESD構想のようなものが大切になる。大変有意義な研修会だった。</li> </ul>
その他	<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ESDに関する理解の推進</li> <li>・ユネスコスクールの質的向上への連携・協力</li> </ul>

県ユ連創立 50 周年記念事業実績報告（平成 28 年度） 平成 29 年 5 月 10 日

月	理事会・実行委員会14:00～	役員会・実行小委員会	備 考(他の行事等も含む)
5			県ユ連総会・・・7日(土)太田
6	14日(火)理事会		
7	22日(金)理事会・実行委員会①	13日(水)役員会・実行委員会設立準備会 22日(金)部会顔合せ	○役員会・実行委員会設立準備会で実行委員会の組織(案)や予算(案)等を協議した。 ○22日実行委員会で協議決定したこと 記念事業の趣旨テーマ、事業予算 実行委員会組織
8		17日(水)実行小委①	○実行小委員会で協議したこと 記念式典・祝賀会開催会場、事業の趣旨テーマ、記念誌の内容、式典次第、その他
9	9日(金)理事会・実行委員会②	9日(金)部会	○実行委員会で協議し、決定したこと 式典・祝賀会会場、記念事業の趣旨とテーマ、式典及び祝賀会アトラクション 出演者
10		12日(水)実行小委②	○実行小委員会で協議したこと 記念誌発行部数と配布対象者、記念講演の講師、式典来賓及び招待者、協賛金を募る活動、その他 ○研修視察・・・5日(水)高崎 ○県と高崎市へ補助金要望書提出
11	9日(水)理事会・実行委員会③	9日(水)部会	○実行委員会で協議し決定したこと 記念誌発行部数と配布対象者、記念講演の講師、式典来賓及び招待者、協賛金を募る活動依頼文 ○日ユ協・県教委・高崎市等へ後援申請
12			○海外青年交歓研修・・・11日(日)藤岡 ○ユネスコスクール研修・21日(水)藤岡
1		18日(水)実行小委③	○実行小委員会で協議したこと 平成29年度の会議予定と記念事業行程表、平成29年度県ユ連予算(原案) 協賛金を募る活動、記念大会表彰、負担金の納入、記念式典の一次案内文、 ○ユネスコ群馬刊行
2	10日(金)理事会・実行委員会④		○実行委員会の折にお願いしたこと 負担金2万円を各ユ協・ソロプチ前橋にお願いした。 ○県ユ連新年会(ユネスコ群馬配布)
3	3日(金)理事会・実行委員会⑤	部会中止	○実行委員会で協議し、決定したこと 記念大会表彰要綱を検討し、会長推薦者を承認した。また各ユ協会長・ソロプチ前橋会長に表彰候補者推薦を依頼した。また、大会一次案内文を承認 ○3日世界遺産委員会・・・3日(金)

## 平成28年度 群馬県ユネスコ連絡協議会決算書

### 1 収入

(単位:円)

科 目	28年度予算額	28年度決算額	差引増減額	摘 要
繰越金	49,133	49,133	0	前年度からの繰越金
会費	514,000	514,000	0	会費49万円 会場費負担金24千円
事業収入	400,000	392,000	8,000	ユ協新聞24万円 名刺交換15,2万円
補助金	90,000	90,000	0	社会教育関係事業費補助(県教委)
雑収入	1,000	1	999	預金利子等
合 計	1,054,133	1,045,134	8,999	

### 2 支出

科 目	28年度予算額	28年度決算額	差引増減額	摘 要
会議費	30,000	16,510	13,490	理事会等会議費・会場費
旅費	60,000	60,000	0	旅費
通信費	30,000	14,148	15,852	切手等通信費
印刷費	10,000	1,365	8,635	各種印刷経費
消耗品費	30,000	34,319	△4,319	事務用消耗品
事業費	617,000	601,000	16,000	
新聞発行費	189,000	189,000	0	広報誌「ユネスコ群馬」発行費 2100部 含消費税、郵送諸経費
単ユ協助成金	156,000	156,000	0	各ユ協 13000×12
県ユ連総会	40,000	40,000	0	太田ユ協
海外青年交歓研修会	50,000	50,000	0	藤岡地方ユ協
研修視察	50,000	50,000	0	高崎ユ協
世界遺産委員会	20,000	20,000	0	
国際理解バス	12,000	16,000	△4000	8ユ協(2,000×8)
運営研修会	50,000	0	50,000	50周年記念事業費へ
ユネスコスクール委員会	50,000	50,000	0	
HP維持管理費	0	30,000	△30,000	積立金より項目移行
文化活動補助費	24,000	30,000	△6,000	文化活動5ユ協(6,000×5)
構成員負担金	9,600	10,200	△600	日ユ協負担金 教育振興会
積立金	210,000	180,000	30,000	關プロ積立金5万円、50周年記念事業費13万円
慶弔費	10,000	0	10,000	慶弔見舞金
創立50周年記念事業補助	0	50,000	△50,000	運営研修会中止分
予備費	23,533	19,360	4,173	見舞金 祝花 監査等
合 計	1,054,133	1,016,902	37,231	

収入合計1,045,134円－支出合計1,016,902円 = 差引残高 28,232円



## 平成28年度 決算報告

平成28年度 群馬県ユネスコ連絡協議会決算について

収入金額 1,045,134円

支出金額 1,016,902円

差引残高 28,232円

残高28,232円は 次年度に繰り越します。

なお、特別会計積立金残高は次の通りです。



関ブ口積立金残高 280,006円

50周年記念事業積立金残高 0円

(230,376円は28年8月に実行委員会に渡した)

以上報告いたします。

平成29年3月31日


会計 福田 公代   
会計 森田 経代 

## 平成28年度 会計監査報告

平成28年度会計について、平成29年4月5日会計諸帳簿及び諸帳票並びに預金残高(現金含)との照合を行った結果、正確かつ適正に処理されていたことを確認しましたので、報告いたします。

平成29年4月5日

監事 矢野 

監事 新井 正雄 



## 平成29年度 事業計画 (案)

事業名	期 日	会 場	ホストユ協
定 期 総 会	5月10日(水)午後2時開会	沼田市中央公民館	沼田ユ協
理 事 会	年度内 12回予定	前橋プラザ元気 21	県ユ連協
実 行 委 員 会	前年度～本年度 16回		同上
役 員 会	随時	同上	同上
国 際 理 解 バ ス	7/26(木)館林、8/4(木)大泉、 8/8(火)藤岡地方、8/10(木)沼田、 8/18(金)前橋、8/24(木)高崎、太田	東京・筑波研修セ ンターJICA等	各ユネスコ 協会
県ユネスコ連絡協議会創立 50周年記念大会	11月26日(日)受付13:00 式典13:30 祝賀会17:10	高崎ビューホテル	オール群馬
運営研修会兼事務局員研修 会・ユネスコ研修視察・海 外青年交歓研修会	50周年記念事業のため中止。 次年度より実施		県ユ連協
世界遺産委員会	随時		委員会
ユネスコスクール委員会	月 日( )		委員会
広報紙「ユネスコ群馬」 第74号発刊	平成30年1月31日に発行予定		事務局
日本ユネスコ協会連盟総会	6月25日(土)	東京都	日ユ協連
日本ユネスコ運動全国大会 in 仙台	7月15日(土)開会式13:00 ～16日(日)	仙台国際センター	同上
関東ブロックユネスコ活動 研究会	10月14日(土)	千葉県市川市	千葉県ユ連 協

### 各ユネスコ協会総会期日

桐生ユ協	5月19日(金)	沼田ユ協	5月31日(水)
太田ユ協	5月18日(木)	館林ユ協	4月21日(金)
前橋ユ協	4月22日(土)	安中碓氷ユ協	5月19日(金)
伊勢崎ユ協	5月19日(金)	藤岡地方ユ協	5月11日(木)
高崎ユ協	5月14日(日)	中之条ユ協	5月 日( )
富岡ユ協	5月19日(金)	大泉ユ協	4月 9日(日)

## 平成 29 年度県ユ連創立 50 周年記念事業行程表

月	理事会・実行委員会等会議等	部会等	備考(主な行事等)
4	5日(水)理事会・実行委員会⑥  27日(木)理事会・実行委員会⑦	部会	創立 50 周年記念大会の大綱確定 (事業の趣旨・テーマ、式典・祝賀会次第内容 事業予算、記念誌の内容、等大綱の確定。) ◎協賛金を募る活動のお願い(4月5日) ◎表彰候補者推薦〆切(4月5日) ◎表彰候補者の選考と決定(4月27日)
5	10日(水)県ユ連定期総会 14:00~沼田市中央公民館		◎50周年記念大会の一次案内 (50周年記念事業の大綱を提案し、承認を得る)
6	9日(金)理事会・実行委員会⑧	部会	◎協賛金集め(5~7月)
7	14日(金)理事会・実行委員会⑨	部会	◎記念式典・祝賀会二次案内(参加申込み書) ・全国大会 in 仙台...15日(土)16日(日) ◎記念事業負担金納入〆切(各ユ協、ソロブチ)
8	2日(水)理事会・実行委員会⑩	部会	◎協賛者確認、協賛金集計完了(収入確定)
9	8日(金)理事会・実行委員会⑪ (会場下見を兼ねて14:00より 高崎ビューホテルで行う)	部会	◎式典・祝賀会参加申込み〆切 ・会場掲示物等発注 ・式典・祝賀会運営マニュアル(案)提案 ・式典当日資料「リーフレット」(案)提示
10	10日(火)理事会・実行委員会⑫	部会	記念事業事前取り組み点検 ◎名簿完成(式典・祝賀会参加者・招待者等) ◎当日資料(リーフレット)完成 ・太田ユ協 50周年記念式典...7日(土) ・関プロ千葉大会 in 市川...14日(土)15日(日)
11	7日(火)理事会・実行委員会⑬ 26日(日)創立 50 周年記念式典・ 祝賀会(高崎ビューホテル) 13:30~式典、17:10~祝賀会	部会	◎記念式典・祝賀会に関わる直前総点検 *式典・祝賀会運営マニュアルに基づいて確認 ・伊勢崎ユ協 50周年記念式典...10日(金)
12	8日(金)理事会・実行委員会⑭	部会	記念事業の総括開始(12月、1月実行委員会)
1	19日(金)理事会・実行委員会⑮	部会	・藤岡ユ協 40周年記念式典...20日(土)
2	9日(金)理事会 11:00~ 県ユ連新年交歓会 12:00~		*理事会終了後、新年交歓会(群馬ロイヤルホテル) 前橋ユ協 50周年記念事業...2月下旬
3	6日(火)理事会・実行委員会⑯		50周年記念事業最終総括(最終実行委員会) 記念誌発刊・配布予定(平成 29 年度内に会員、 関係者及び協賛者に記念誌配布)

## 県ユ連創立 50 周年記念事業の趣旨とテーマ

### 1 趣旨やねらい

1967年に創立された群馬県ユネスコ連絡協議会が2017年に創立 50 周年の節目の年を迎えたことを祝うとともに、本協議会の発足時からの活動の歴史を振り返る。また、時代や社会の変化に対応したニーズを踏まえ、現行の諸事業や取り組みの方向性を確かめる。

併せて、50 周年記念事業にオール群馬で取り組むことを通じて本協議会の組織や運営の活性化と各ユ協間の連携を深める。

### 2 記念事業のテーマ・サブテーマ

#### 「つなげよう ひろげよう平和の心 ぐんま」

～持続可能な社会の構築を目指して～

2007年に「拡げようユネスコの輪・進めよう世界遺産」をテーマに県ユ連 40 周年記念事業を行ってから 10 年が経とうとしている。この間、2014年に「富岡製糸場と絹産業遺産群」が世界文化遺産に登録された。このことにより、群馬県内ではユネスコの世界遺産活動に対する認知度が高まっている。この反面、ユネスコ憲章の前文に「人の心の中に平和の砦を築かなければならない」と謳われている「平和の文化」の構築に関わる活動や世界寺子屋運動等についての理解はいまだに高いとは言えない。

しかし、そんな中、2009年に開催された文部科学省、日本ユネスコ国内委員会、群馬県ユネスコ連絡協議会主催の「ユネスコスクール研修会」によって「持続可能な開発のための教育」(ESD)の理解が群馬県内のユネスコ協会に広がり始め、ユネスコスクール普及活動の高まりが見られるようになり今日に至っている。

また、2014年「多様化の時代におけるユネスコ活動活性化の提言」(ユネスコ国内委員会)、2019年までを目標年次とした包括目標で「平和」とともに ESD の普及を目指した取り組みに重点が置かれるようになったこと等が挙げられているうえからも、これらの取り組みを継続発展させ、活動の輪を広げていくことが大変重要であると考え、「つなげよう ひろげよう平和の心 ぐんま」～持続可能な社会の構築を目指して～をテーマに掲げ、50 周年記念事業を推進することとした。



## 県ユ連創立50周年記念式典及び祝賀会の概要

### 1 式典及び祝賀会開催日時・会場

#### (1) 日時

式典 平成29年11月26日(日) 13:30～ \*受付 13:00～  
祝賀会 " 17:10～

#### (2) 会場

高崎ビューホテル

〒370-0815 高崎市柳川町70 (Tel. 027-322-1111)

### 2 式典等の内容・次第

#### (1) アトラクション 13:30～14:00

\*高崎市少年少女合唱団の演奏を予定しています。同合唱団は高崎市長が会長を務める歴史と由緒ある合唱団です。高崎市内、群馬県内、国内で演奏会を開催している外、海外の演奏活動も行っています。

#### (2) 式典 14:00～15:00

- ①開式のことば
- ②国歌斉唱
- ③ユネスコの歌斉唱
- ④事業報告
- ⑤会長式辞
- ⑥来賓祝辞 \*来賓紹介・祝電披露
- ⑦感謝状贈呈
- ⑧受賞者代表謝辞
- ⑨大会宣言
- ⑩閉式のことば

#### (3) 講演会 15:10～16:30

- ①講師紹介
- ②講演

\*講師は上野三碑世界記憶遺産(ユネスコ「世界の記憶」)登録推進協議会会長の横島庄治氏を予定しています。演題は未定です。  
横島氏は早稲田大学卒、元NHK記者・同解説委員、元高崎経済大学教授という経歴の方です。現在上野三碑顕彰会会長の職にあります。また、環境問題や都市問題に精通しています。

### 3 祝賀会

#### (1) 祝賀会アトラクション 16:40～17:10

\*高崎市出身の女流落語家であり林家正蔵門下の二つ目：林家つる子さんの出演を予定しています。新進気鋭の女流落語家で、群馬県観光特使も務めています。  
なお、演目は未定です。

#### (2) 祝賀会

- ①開会のことば
- ②会長挨拶
- ③実行委員長挨拶
- ④来賓祝辞
- ⑤乾杯
- ⑥締め
- ⑦閉会のことば



平成29年度 群馬県ユネスコ連絡協議会予算(案)

1 収入

科 目	29年度予算	28年度予算	差引増減額	摘 要
繰越金	28,232	49,133	20,901	前年度からの繰越金
会費	514,000	514,000	0	会費49万円【40000×12協、10000×1(ソロボチミスト前橋)】 会場費負担金2万4千円(2000×12ユ協)
事業収入	390,000	400,000	△10,000	ユ協新聞24万円(20000×12ユ協) 名刺交換15万円(2000×75人)
補助金	90,000	90,000	0	社会教育関係事業費補助(群馬県教委)
雑収入	10	1,000	△990	預金利子等
合 計	1,022,242	1,054,133	31,891	

2 支出

科 目	29年度予算	28年度予算	差引増減額	摘 要	
会議費	20,000	30,000	△10,000	理事会等会議費・会場費	
旅費	60,000	60,000	0	各種旅費等	
通信費	20,000	30,000	△10,000	切手等通信費	
印刷費	5,000	10,000	△5,000	各種印刷経費	
消耗品費	35,000	30,000	5,000	事務用消耗品	
事業費	482,000	617,000	△135,000		
事業 費 内 訳	新聞発行費	190,000	189,000	1,000	広報誌「ユネスコ群馬」発行費 2200部 含消費税、郵送諸雑費
	単ユ協助成金	156,000	156,000	0	各ユ協 13000×12
	県ユ連総会	30,000	40,000	△10,000	沼田ユ協
	海外青年交歓研修会	0	50,000	△50,000	
	研修視察	0	50,000	△50,000	
	世界遺産委員会	10,000	20,000	△10,000	
	国際理解バス	16,000	12,000	4,000	2000円×8ユ協
	運営研修会	0	50,000	△50,000	
	ユネスコスクール委員会	50,000	50,000	0	
HP維持管理費	30,000	0	30,000		
文化活動補助費	30,000	24,000	6,000	文化活動(6000円×5ユ協)	
構成員負担金	9,600	9,600	0	日ユ協負担金 教育振興会	
積立金	50,000	210,000	△160,000	関プロ積立金5万円	
慶弔費	10,000	10,000	0	慶弔見舞金	
創立50周年記念事業補助	280,000	0	280,000	3事業分より150,000 記念事業積立より130,000	
予備費	20,642	23,533	△2,891		
合 計	1,022,242	1,054,133	△31,891		

収入 1,022,242円 - 支出 1,022,242円 = 0円

## 県ユ連創立 50 周年記念事業の予算(案)

### 1 収入の部

項 目	金 額 (円)	摘 要
県ユ連特別基金	180,376	50周年事業積立金(平成27年度までのもの)
平成28年度基金	100,000	県ユ連より50周年記念事業補助10万円 ・平成28年度分50周年記念事業積立金50,000円、 ・運営研修中止分50,000円
平成29年度基金	280,000	県ユ連より50周年記念事業補助28万円 ・研修視察・運営研修・海外青年交歓研修会中止分 50,000円×3=150,000円 ・平成29年度分50周年記念事業積立金130,000円
群馬県補助金	200,000	
高崎市補助金	100,000	
各ユ協負担金	260,000	20,000円×13団体(12ユ協、ソロプチ前橋)
協賛金	400,000	
合 計	1,520,376	

### 2 支出の部

項 目	金 額 (円)	摘 要
会場使用料	100,000	式典会場費、他
報償費	100,000	講演謝礼、アトラクション出演謝礼
顕彰関係費	50,000	賞状印刷費、受賞者記念品代
看板・生花代	50,000	式典・祝賀会場看板、演台生花
50周年記念誌代	1,030,000	記念誌印刷代
会議費	5,000	実行委員会議飲み物代
通信費	50,000	通信連絡費
消耗品費	115,000	資料入れ袋、封筒、名札、印刷用紙代、写真プリント代 テープ・USB代、インク代、他
予備費	20,376	
合 計	1,520,376	



平成29年度 県ユ連事業のホストユ協 (案)

年 度	定期総会	国際理解バス	海外青年 交歓研修	ユネスコ 運営研修	ユネスコ 研修視察	国際理解 研 修	関プロ研究会	世界遺産
83(昭58)	伊勢崎	渋川	安中碓氷	藤岡多野		太田	神奈川(横浜)	
84(昭59)	前橋	富岡				沼田	茨城(水戸)	
85(昭60)	大間々	多野藤岡	太田	桐生		富岡	群馬(中之条)	
86(昭61)	前橋	安中碓氷	伊勢崎	渋川		大間々	栃木(宇都宮)	
87(昭62)	館林	富岡	アゼ教員	桐生		中之条	東京都	
88(昭63)	高崎			沼田		前橋	群馬(中之条)	
89(平1)	前橋		富岡			桐生	神奈川(横浜)	
90(平2)	大間々	藤岡地方	新田	渋川		太田	茨城(筑波)	
91(平3)	高崎			沼田		前橋	群馬(中之条)	
92(平4)	新田	藤岡地方	太田	桐生		高崎	群馬(富岡)	
93(平5)	富岡	渋川	高崎	伊勢崎		前橋	栃木(足利)	
94(平6)	太田	新田	前橋	中之条		渋川	東京都	
95(平7)	伊勢崎	県ユ連9ユ協	太田大泉	沼田	藤岡地方	新田	千葉(市原)	
96(平8)	高崎	県ユ連11ユ協	桐生			新田	群馬(富岡)	
97(平9)	新田	県ユ連10ユ協	館林	前橋		富岡	栃木(足利)	
98(平10)	大泉	県ユ連11ユ協	安中碓氷	中之条		富岡	東京都	
99(平11)	藤岡地方	県ユ連10ユ協	大泉	渋川	桐生	伊勢崎	千葉(市原)	
00(平12)	富岡	県ユ連ユ協	太田	沼田	大間々	太田	茨城(土浦)	
01(平13)	渋川	県ユ連ユ協	新田	高崎	館林		埼玉(寄居地方)	
02(平14)	安中碓氷	県ユ連ユ協	太田				群馬(沼田)	
03(平15)	中之条	県ユ連ユ協	伊勢崎	高崎	富岡		栃木(日光)	
04(平16)	大間々	県ユ連ユ協	前橋	太田	藤岡地方		東京都(小平)	
05(平17)	高崎	県ユ連ユ協	大泉	館林	富岡		茨城(ひたちなか)	
06(平18)	前橋	県ユ連ユ協	安中	沼田	桐生		埼玉(大宮)	
07(平19)	伊勢崎	県ユ連ユ協		太田			千葉(柏)	
08(平20)	安中碓氷	県ユ連ユ協		大泉			群馬(高崎)	
09(平21)	太田	県ユ連ユ協	譚ハグリス	安中	伊勢崎		栃木(足利)	
10(平22)	桐生	県ユ連ユ協	高崎	富岡	沼田		東京都(目黒)	桐生
11(平23)	藤岡地方	県ユ連ユ協	太田	安中碓氷	館林		千葉	高崎
12(平24)	前橋	県ユ連ユ協	大泉	高崎	富岡		茨城(つくば)	伊勢崎
13(平25)	中之条	県ユ連ユ協	伊勢崎	沼田	藤岡地方		埼玉(越谷)	安中碓氷
14(平26)	太田	県ユ連ユ協					群馬(高崎)	
15(平27)	館林	県ユ連ユ協	安中碓氷	桐生	前橋		栃木(佐野)	
16(平28)	太田	県ユ連ユ協	藤岡地方	中止	高崎		東京都(渋谷)	
17(平29)	沼田	県ユ連ユ協	中止	中止	中止		千葉(市川)	

平成28・29年度 群馬県ユネスコ連絡協議会 役員名

役 職	所属ユ協	氏 名	住 所	電話番号	備考
会 長	沼 田	小林 照夫	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
副会長	前 橋	阿久澤和夫			
副会長	高 崎	樋口 克己			
副会長	桐 生	北川紘一郎			
副会長	藤岡地方	岸 正博			
監 事	安中碓井	矢野 薫			
監 事	太 田	新井 正雄			
事務局長	沼 田	下田 一成			
事務局次長	沼 田	大島 俊夫			
事務局次長	沼 田	石田 宇平			
事務局次長兼書記	沼 田	宇敷 和也			
会 計	沼 田	福田 公代			
会 計	沼 田	森田 経代			
ユネスコ群馬 編集委員	沼 田	矢嶋 照久			
	沼 田	新井 美沙子			
	沼 田	阿部 倫典			
	沼 田	丸岡 昌舜			
	沼 田	小野瀬 悦子			
	沼 田	村澤 玲子			

群馬県ユネスコ連絡協議会顧問・参与

顧 問

氏 名	歴 代 ・ 年 度	所属ユ協	
丸山 クニ子	第三代会長(1984~1985)	桐 生	
佐藤 好三	第四代会長(1986~1987)	高 崎	
桜井 玉寿	第五代会長(1988~1989)	伊勢崎	
中村 宏	第六代会長(1990~1993)	前 橋	
長南 清	第七代会長(1994~1999)	太 田	
北原 正昭	第八代会長(2000~2001)	富 岡	
土田 正	第九代会長(2002~2003)	沼 田	
矢島 祭太郎	第十代会長(2004~2009)	高 崎	
関口 実	第十一代会長(2010~2015)	太 田	

参 与

氏 名	年 度	所属ユ協	
斉藤 稔	副会長(2004~2007)	富 岡	
山口 慶一	副会長(2004~2007)	大間々	
福村 平八郎	事務局長(2004~2009)	高 崎	



県ユ連創立 50 周年記念事業実行委員会・部会組織（案）

県ユ連の役職等	氏名	所属ユ協・役職	実行委員会役職	部会の所属(役割)		
会長	小林 照夫	沼田会長	大会会長			
副会長	樋口 克己	高崎会長	実行委員長			
副会長	北川絃一郎	桐生会長	副実行委員長	総務		
副会長	岸 正博	藤岡地方会長	副実行委員長		記念誌部長	
副会長	阿久澤和夫	前橋会長	副実行委員長		記念誌副部長	
監事	矢野 薫	安中碓氷会長	委員			式典副部長
監事	新井 正雄	太田	委員			式典
事務局長	下田 一成	沼田	委員	総務部長		
事務局次長	大島 俊夫	沼田事務局長	委員			式典
事務局次長	石田 宇平	沼田	委員	総務		
事務局次長兼書記	宇敷 和也	沼田	委員		記念誌	
会計	福田 公代	沼田	委員	総務		
会計	森田 経代	沼田	委員	総務		
理事	下山 進平	桐生副会長	委員		記念誌	
理事	中村 利光	太田会長	委員		記念誌	
理事	若田部茂子	太田事務局長	委員		記念誌	
理事	高島 美幸	前橋理事	委員			式典
理事	設楽 孝吉	伊勢崎会長	委員		記念誌	
理事	矢内三四郎	伊勢崎副会長	委員			式典
理事	岡部 幹夫	高崎事務局長	委員			式典部長
理事	矢野 英司	富岡会長	委員	総務		
理事	島崎 佳彦	富岡事務局長	委員		記念誌	
理事	蛭間 亨一	館林会長	委員	総務		
理事	小林 悟	館林副会長	委員		記念誌	
理事	猿谷 憲	安中碓氷副会長	委員		記念誌	
理事	岩崎 哲	藤岡地方事務局長	委員		記念誌	
理事	齋藤 一雄	中之条会長代行	委員			式典
理事	富沢 易和	中之条監事	委員		記念誌	
理事	寺西 弘之	大泉会長	委員			式典
理事	長澤 尚久	大泉事務局長	委員		記念誌	
理事	内田 初枝	ソロプチ前橋副会長	委員			式典
実行委員会事務局	三浦 芳夫	高崎理事	委員(書記)		記念誌	
"	松本千恵子	高崎会計	委員(会計)			式典
"	原田 和博	高崎ユ協事務局	委員(書記)	総務		
県教委生涯学習課	清水 彰	青少年教育係長				
"	諏訪部光昭	青少年教育係				

<実行小委員> 小林照夫(県ユ連会長、大会会長)  
 北川絃一郎(副実行委員長)  
 阿久澤和夫(副実行委員長)  
 岡部幹夫(式典部長)  
 松本千恵子(実行委員会会計)

樋口克己(実行委員長)  
 岸 正博((副実行委員長、記念誌部長)  
 下田一成(県ユ連事務局長、総務部長)  
 三浦芳夫(実行委員会書記)  
 原田和博(実行委員会書記)

平成28・29年度 群馬県ユネスコ連絡協議会 理事名簿

ユ協名	役職	氏名	郵便番号	住所	電話(右:F番号) ※は電とFが同じ
桐生	会長	北川紘一郎	371-8570	前橋市大手町1-1-1	027-226-4668 F 027-224-8780
	副会長	下山 進平			
太田	会長	中村 利光			
	事務局長	若田部茂子			
前橋	会長	阿久澤和夫			
	理事	高島 美幸			
伊勢崎	会長	設楽 孝吉			
	副会長	矢内三四郎			
高崎	会長	樋口 克己			
	事務局長	岡部 幹夫			
富岡	会長	矢野 英司			
	事務局長	島崎 佳彦			
沼田	会長	小林 照夫			
	事務局長	大島 俊夫			
館林	会長	蛭間 享一			
	副会長	小林 悟			
安中碓氷	会長	矢野 薫			
	事務局長	櫻井 幹男			
藤岡地方	会長	岸 正博			
	事務局長	岩崎 哲			
中之条	会長代行	齊藤 一雄			
	監事	富沢 易和			
大泉	会長	寺西 弘之			
	事務局長	長澤 尚久			
国際プロダミスト前橋	会長	内田 初枝			
群馬県教委生涯学習課	諏訪部光昭	371-8570	前橋市大手町1-1-1	027-226-4668 F 027-224-8780	

28・29年度 事務局担当者・連絡責任者名簿

コ協名	役 職	氏 名	郵便番号	住 所	上電話・下Fax *電とFが同じ
桐 生	会 長	北川紘一郎	376-0031	桐生市本町1-5-5	*0277-44-0277
太 田	会計監査	新井 正雄	370-0415	太田市南ヶ丘町1297-9	*0276-52-3187
前 橋	市教委事務局 副主幹	萩原 篤	371-0023	前橋市教育委員会生涯学習課 前橋市本町2-12-1	027-210-2198 027-237-0722
伊勢崎	社会教育指導員	松井 龍彦	372-8501	伊勢崎市教育委員会生涯学習課 伊勢崎市今泉町2-410	0270-27-2793 0270-24-9668
高 崎	防犯青少年課 ユネスコ担当	原田 和博	370-8501	高崎市役所防犯青少年課ユネスコ担当 高崎市高松町35-1	027-321-1297 027-328-2397
富 岡	市教委事務局	吉井あゆみ	370-2343	富岡市生涯学習センター 富岡市七日市400-1	0274-62-1531 0274-64-4709
沼 田	市教委事務局	吉野 正孝	378-0042	市教育委員会社会教育課 沼田市西倉内町780	0278-23-2111 0278-23-8653
館 林	市教委事務局	浅見すみれ	374-8501	館林市教育委員会事務局 館林市城町1-1	0276-72-4111 0276-74-9677
安中碓氷	市教委事務局	田村 利幸	379-0292	松井田庁舎生涯学習課内 安中市松井田町新堀245	027-382-1111 027-386-6191
藤岡地方	生涯学習課主査	橋本 町子	375-0024	藤岡市教育委員会生涯学習課 藤岡市藤岡1485	0274-22-6888 0274-22-8738
中之条	町教委事務局	宮崎 貞夫	377-0423	吾妻町教育委員会事務局 吾妻郡中之条町伊勢町1005-1	0279-76-3111 0279-76-3112
大 泉	事務局長	長澤 尚久	370-0511	邑楽郡大泉町北小泉4-19-22	*0276-63-4308
国際ソロプチミスト 前橋	会 長	内田 初枝	379-2154	前橋市天川大島町1103	027-261-6677



群馬県ユネスコ連絡協議会一覧表（設立順）

単位ユネスコ協会名	設 立 年 月 日	備 考
桐生ユネスコ協会	昭和23年12月 3日	
太田ユネスコ協会	昭和42年 2月16日	50周年(10/7)
前橋ユネスコ協会	昭和42年 3月 2日	50周年(2肝旬)
伊勢崎ユネスコ協会	昭和42年11月11日	50周年(11/10)
高崎ユネスコ協会	昭和44年11月24日	
富岡ユネスコ協会	昭和46年 3月13日	
沼田ユネスコ協会	昭和46年 3月28日	
館林ユネスコ協会	昭和47年 5月20日	
安中碓氷ユネスコ協会	昭和51年 3月22日	
藤岡地方ユネスコ協会	昭和52年 7月16日	40周年(1/20)
中之条ユネスコ協会	昭和54年11月11日	
大泉ユネスコ協会	平成 6年 9月 3日	

## 群馬県ユネスコ連絡協議会会則

(名称及び事務局)

第1条 この会は、群馬県ユネスコ連絡協議会といい、事務所を群馬県教育委員会事務局生涯学習課におく。

(目的)

第2条 この会は、県内所在のユネスコ協会およびその構成員（以下「会員」という。）相互の連絡提携並びに時代を担う青少年の健全育成を図り、もってユネスコ活動の振興発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 この会は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。

- (1) 会員相互の連絡提携
- (2) ユネスコ活動推進のため会員の行う活動に対する協力援助
- (3) 関係行政機関および日本ユネスコ協会連盟等に対する協力援助
- (4) ユネスコ活動推進のための各種集会の開催、調査・広報活動その他必要な事業

(組織)

第4条 この会は、会員並びにこの会に賛同し、理事会の承認を得た個人及び団体（以下「賛助会員」という。）をもって組織する。

(役員)

第5条 この会につきの役員をおく。

- 会 長 1名
- 副会長 若干名
- 理 事 若干名（事務局長を含む。）
- 監 事 2名

2 役員は総会において選出する。

3 役員任期は2年とする。ただし再任を妨げない。補欠による役員は前任者の残任期間とする。

(役員の仕事)

第6条 会長はこの会を代表し、会務を総理する。

2 副会長は会長を補佐し、会長事故ある時はその職務を代行する。

3 理事は理事会を構成し、この会の運営に関する事項を審議し、またそれを審議する。

(名誉会長・顧問・参加)

第7条 この会に、理事会の議を経て、名誉会長および顧問・参加をおくことができる

(会議)

第8条 この会の会議は、総会、理事会とする。

(総会)

第9条 総会は各協会会員の出席によって開催し、次の事項を審議し議決する。

(1) 決算の承認

(2) 事業計画並びに予算

(3) 役員を選出

(4) 会則の変更

(5) その他必要な事項

(理事会)

第10条 理事会は、会長・副会長・理事を以て構成し、この会の運営に関する事項について議決する。

(青年部)

第11条 この会に青年ユネスコ活動の振興をはかるため、青年部をおく。

2 青年部の会則は別に定める。

(事務局)

第12条 この会に事務局を設け、事務局長1名・事務局次長・書記若干名および会計2名(以下「事務局員」という。)をおく。事務局員は会長が委嘱する。

(会費)

第13条 会費は次のとおりとする。

構成団体 年 額 40,000 円

賛助会員 1口年額 10,000 円

(専門委員会)

第14条 本会の事業を遂行するため各種専門委員会を置くことができる。

(細則・表彰・慶弔規程)

第15条 本会の会務執行に関する細則並びに表彰・慶弔等に関する規程は理事会の議を経て別に定める。

(会計年度)

第16条 この会計年度は、4月1日から翌年3月31日までとする。

附 則

この会則は、昭和42年5月4日から実施する。

昭和51年5月15日会則一部改正

昭和55年5月24日会則一部改正

昭和62年5月2日会則一部改正

昭和63年5月14日会則一部改正

平成3年5月26日会則一部改正

平成12年5月21日会則一部改正

平成20年5月17日会則一部改正



## 群馬県ユネスコ連絡協議会表彰規程

### (趣旨)

ユネスコ活動の発展に寄与・尽力された本会会員。準会員並びに各ユネスコ協会所属の団体・個人に対して表彰状または感謝状を贈り、その貢献を讃えユネスコ活動の発展に資するものとする。

### (受賞対象・方法)

- 1 主としてユネスコ活動に関する功勞によって叙勲・褒賞および文部科学大臣または外務大臣表彰を受けられた方
- 2 県ユネスコ活動功勞者
  - (1) 群馬県ユネスコ連絡協議会会長の職にあった方
  - (2) 会長の推薦する県ユネスコ活動に関する功勞者
  - (3) 理事の推薦で理事会の承認を得た県のユネスコ活動功勞者

## 群馬県ユネスコ連絡協議会慶弔規程 (平成9年4月制定)

第1条 本規程は、群馬県ユネスコ連絡協議会の役員・理事の慶弔・長期疾病等の際し慶弔の意を表するものとする。

第2条 役員、理事及びその家族に弔事があった時は、次のとおり弔意を表す。

- 1 役員、理事の死亡 弔電、花輪 (代表参列)
- 2 配偶者及び同居の親 弔電

第3条 役員、理事が長期疾病等の際しては、その都度、協議の上、見舞いする。

第4条 本規程によりがたい時は、協議の上、決定する。

第5条 各協会の周年事業に対し、各協会は1万円を祝金とする。

## 群馬県ユネスコ連絡協議会役員推薦内規

この内規は、会則第5条「役員」の選出規定に基づく規程とする。

第1条 この内規により選出する役員は、次のとおりとする。

会長 1名 副会長 若干名 監事 2名

第2条 前条の規定による役員選出に当たるため、役員推薦委員会を組織する。

第3条 役員推薦委員会（以下「委員会」という。）は次による。

- 1 推薦委員は各協会から1名とする。但し、<sup>単位ユ協</sup>会長及び<sup>県ユ連</sup>監事は推薦委員になることができない。
- 2 委員会委員長1名及び副委員長1名は、委員会で互選する。
- 3 ユネスコ担当の行政主管課担当者及び群馬県ユネスコ連絡協議会事務局長は、オブザーバーとして出席することができる。

第4条 委員会は、推薦委員長が招集し、会議の議長となる。

但し、推薦委員長が決定するまでの間の委員会招集及び開会は、群馬県ユネスコ連絡協議会会長がこれを行なう。

第5条 委員会により推薦を受けた第1条に規定する役員は、本人受諾後に開催される「群馬県ユネスコ連絡協議会総会」において承認され決定する。

### 附 則

- 1 平成27年5月9日制定・施行

## 平成29年度 定期総会出席者名簿

### 1 来 賓

群馬県教育委員会生涯学習課	課 長	船曳 忠雄 様
沼田市教育委員会	教 育 長	大竹 孝夫 様

### 2 会 員

協 会 名	役 職	氏 名	備考
桐生ユネスコ協会	会 長	北川紘一郎	
	副 会 長	高柳 光雄	
	監 事	前原 勝	
太田ユネスコ協会	会 長	中村 利光	
	事務局長	若田部茂子	
	事務局次長	新井 正雄	
	会 計	金田 勝代	
	会 計	飯田 政子	
前橋ユネスコ協会	会 長	阿久澤和夫	
	副 会 長	須藤 英雄	
	事務局長	矢島 俊夫	
	理 事	高島 美幸	
	理 事	宮川 孝子	
伊勢崎ユネスコ協会	理 事	樺澤富美男	
	会 長	設楽 孝吉	
	副 会 長	矢内三四卯	
	副 会 長	横澤 克明	
	会 計	渋沢ヨシ子	
高崎ユネスコ協会	会 計	渡辺 君枝	
	監 事	是澤恵美子	
	会 長	樋口 克己	
	副 会 長	串田 昭光	
	副 会 長	上田 一美	
	副 会 長	岩井 聖子	
	事務局長	岡部 幹夫	
	会 計	松本千恵子	
会 計	田中けい子		
富岡ユネスコ協会	理 事	三浦 芳夫	
	会 長	矢野 英司	
	事務局長	島崎 佳彦	
	理 事	高橋總一郎	
	理 事	小越 康	
	理 事	多田めぐみ	
	合唱団副団長	黒澤 淳雄	



館林ユネスコ協会	会 長	蛭間 享一	
	副 会 長	奥野 榮通	
	副 会 長	小林 博子	
	理 事	守随 吾朗	
	事 務 局	田部井 修	
	事 務 局	浅見すみれ	
安中碓氷ユネスコ協会	会 長	矢野 薫	
	副 会 長	猿谷 憲	
	書 記	瀬山 善郎	
	理 事	儘田 豊子	
	事務局長	櫻井 幹男	
藤岡地方ユネスコ協会	会 長	岸 正博	
	副 会 長	西澤 恭順	
	事務局長	岩崎 哲	
	事務局次長	木村 順子	
	書記会計	貫井真由美	
中之条ユネスコ協会	理 事	宮崎 雅彰	
大泉ユネスコ協会	会 長	寺西 弘之	
	副 会 長	石井 克己	
	副 会 長	新井 武男	
	副 会 長	阿久沢 勇	
	事務局長	長澤 尚文	
沼田ユネスコ協会	会 長	小林 照夫	
	副 会 長	下田 一成	
	副 会 長	福田 公代	
	副 会 長	森田 経代	
	副 会 長	石田 宇平	
	副 会 長	宇敷 和也	
	副 会 長	矢島 照久	
	事務局長	大島 俊夫	
	事務局員	吉野 正孝	
	理 事	新井美沙子	
	理 事	阿部 倫典	
	理 事	丸岡 昌舜	
	理 事	小野瀬悦子	
	理 事	村澤 玲子	

3 県事務局

群馬県教育委員会生涯学習課	青少年教育係長	清水 彰
	青少年教育係	諏訪部光昭

United Nations	(国際連合)
Educational	(教育)
Scientific	(科学)
Cultural	(文化)
Organization	(機関)

### UNESCO憲章前文

「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。」

### ユネスコ会員綱領

- ☆ 心の中に平和の守りを固めよう。
- ☆ すべての人間の尊厳を重んじよう。
- ☆ 教育・科学・文化の発展に努めよう。
- ☆ 民族間の疑惑と不信をとり除こう。
- ☆ 世界を友愛と信頼のきずなで結ぼう。

### ユネスコのマーク



ユネスコのシンボルマークは、世界遺産に登録されている「アテネのアクロポリス」(文化遺産・ギリシャ)のパーテノン神殿を形どったもの。この神殿に祭られているのは、アテナイ(アケネ)の守護神、アテナ・パーテノスであり、この女神が”智の神”であることから、憲章の中で「人類の知的・精神的連帯」をうたうユネスコのマークの図案に採用されました。

### 新ロゴマーク

2007年で60周年を迎えた私たち。「人の心の中に平和のとりでを築く」この大きな目標に向かって、改めてみなでひとつになるために、新しいロゴマークを作りました。  
平和の象徴である鳩で、地球を表現しています。私たち一人一人が鳩となって、世界中に平和を広げてゆこう。そんな思いをこめました。

